



**基本  
理念**

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

## 第3回 都城消化器疾患合同カンファレンス

2017年4月11日 19:00～20:30

新しい試みとして、昨年10月7日に第1回都城消化器疾患合同カンファレンスを都城医療センターで開催しました。大変多忙な方が多い中、約35名ほどの医師が参加され、熱心な討論が行なわれ盛会でした。これは市内の消化器内科と消化器外科の医師が合同で、3ヶ月ごとに都城市郡医師会病院と当院で持ち回りにて症例検討会を実施し、一緒に勉強することにより消化器疾患の専門性の向上と内科・外科の連携を深めることを目的としたものです。今回は今年の4月11日に第3回目を当院で開催し、28名ほどの医師が参加されました。



### 〈演題発表〉

- ①「膵癌根治手術後の肺単独転移に対する外科治療の有効性」  
当院外科 松村和季
- ②「病変範囲の同定が困難だった胃ESDの1症例」  
当院消化器内科 藤原利成
- ③「大腸腺腫症の1例」  
都城市郡医師会病院 外科 内山周一郎
- ④「DFC (Dental Floss Clip) 法を用いた胃のESD」  
宮永病院 外科 春山幸洋



### 〈症例検討〉

- ⑤「確定診断までに時間を要した十二指腸病変の1症例」  
当院外科 後藤又朗

以上でしたが、様々な消化器疾患の症例が提示され、様々な熱い討論が行われました。

\*カンファレンス終了後は、病院正門前の食事処「あじさい」で食事会を行い、親睦を深めました。



## 放射線科の案内

当院放射線科では画像診断、放射線治療、IVR、緩和ケアと幅広い範囲で診療を行っております。

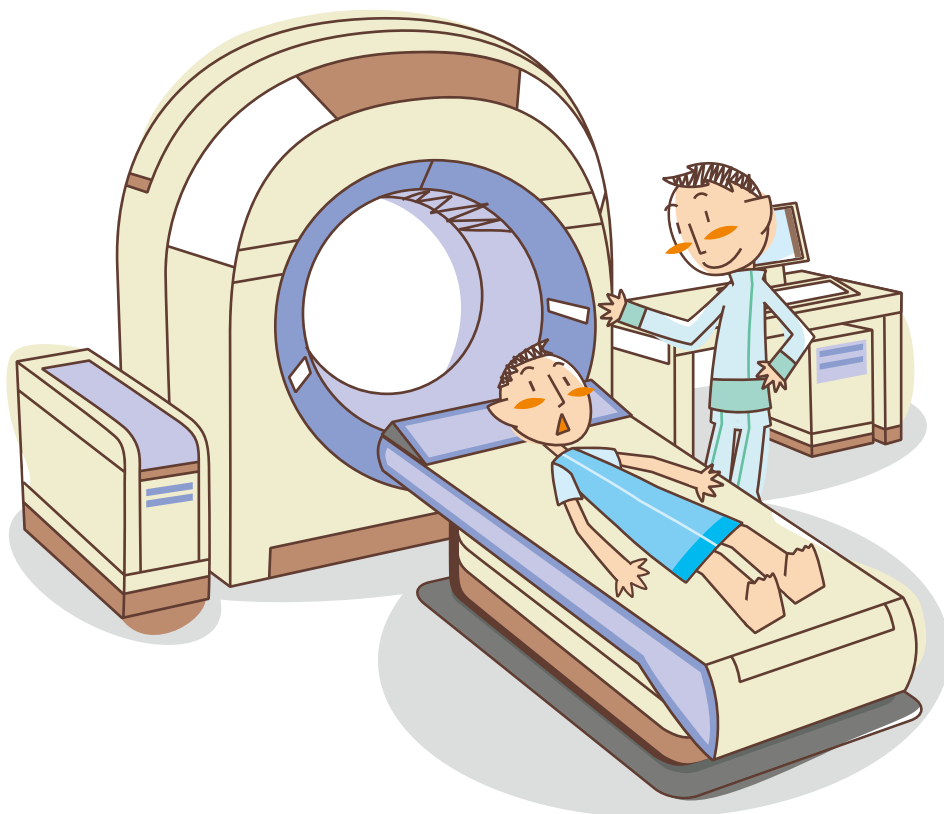
画像診断はCT、MRI、RIを中心に昨年度統計でそれぞれ年間6750件、1676件、447件の検査を行い、放射線治療は頭頸部から胸部、泌尿器科、婦人科、外科、内科の症例について治療を200～250件程行っています。早期肺癌の根治治療として期待されている体幹部定位放射線治療も行っております。社会の高齢化にともない癌の患者も年々増加していますが、侵襲をともなう治療は適応が困難な患者さんも増えておりますので、からだにやさしい放射線治療は治療の選択肢の一つとしてますます重要になってくると思っております。

また放射線治療は緩和治療のなかでも重要な役割を担っておりますが、欧米にくらべて日本では半分ほどしか施行されていないという現状があり、患者のQOLを維持するためにも是非紹介をいただければと思います。IVRも肝臓癌の動注塞栓療法、頭頸部癌の術前動注化学療法、動脈硬化性閉塞症の血管拡張術など年間100例前後の症例の治療を行い良好な結果を得ています。

以上これからも各科の医師と密接な連携をとりながら診療を行ってまいります。また院外の先生方からの画像検査、放射線治療依頼も積極的に受け付けております。どうぞご紹介ください。



放射線科部長  
加治屋 芳樹



## NST専門療法士認定教育施設に認定されました



NSTとはNutrition Support Teamの頭文字をとった略称で、「栄養サポートチーム」のことです。低栄養など栄養管理の必要な患者の皆さんに医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・作業療法士（理学療法士）・臨床検査技師など多職種が連携をし、それぞれの知識や技術を出し合い最良の方法で栄養を支援するチームです。当院は2009年4月1日にNSTを設立し、2010年6月1日より栄養サポートチーム加算を開始いたしました。その後、2016年4月1日 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働認定施設となり2017年4月1日 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働認定施設に、そしてさらには念願でありました日本静脈経腸栄養学会「栄養サポートチーム専門療法士」認定教育施設にも認定され、7月よりいよいよ研修生を受け入れることとなりました。このことにより従来は院内のみの活動であったものが広く院外にも発信できるようになりました。

当院はこれまで地域連携を一つのテーマとしてあげ臨床医療を展開してきましたが、栄養の面に於いてもこの役割を果たすべく NST 外来・都城地域連携栄養セミナーを立ち上げ、この度病院のホームページ上に NST 専用メールアドレスを掲載しました。胃瘻患者さんや栄養療法でお困りのことがありましたら是非ご相談ください。

NST チェアマン・日本静脈経腸栄養学会認定医  
消化器病センター長 駒田 直人

NST E-mail サービスアドレス [nst@miyakon2.hosp.go.jp](mailto:nst@miyakon2.hosp.go.jp)



## 平成29年度就職説明会に参加して



国立病院機構九州グループによる平成29年度合同就職説明会が5月20日に鹿児島市民文化ホールにて行われ、看護学生180名の参加がありました。宮崎県内3施設を含む九州管内10施設が、それぞれの特徴や魅力、充実したキャリアパス制度など個別ブースでアピールしました。

当院のブースには50名の看護学生が訪れました。人材確保プロジェクトスタッフを中心とした各部署の看護師が、それぞれに当院の特色や看護職員能力開発プログラムに沿った支援体制、各部署の特徴や雰囲気など自分の経験を踏まえながら説明しました。中には、すでに興味のある分野が決まっている学生、助産師を目指し助産学校への進学を考えた上で当院に関心を持ってきている学生、認定看護師やJNPを目指す学生も多く、より専門性を極めたいと

いう意欲が伝わってきました。学生からの質問の中には勤務時間や休暇、実際の年間分娩介助件数など具体的なものもあり、就職後の姿をしっかりとイメージ出来ているのだなと感じました。また、私自身の看護師、助産師となった動機を聞かれる場面もあり、これまで経験した心に残る分娩や患者さんからの励みとなっている言葉、誰かの『生』に関わることの緊張と喜びを伝えました。少しでも看護師、助産師として働くことの楽しさや素晴らしさが伝わり、これからの実習や進路選択に向けた動機づけになってくれたらと思っています。

1年後、2年後、高い目標をもっている彼女たちと一緒に働ける日が楽しみです。

(1病棟副看護師長 萬壽 裕子)



## 平成29年度 永年勤続表彰式



賃金職員で10年間勤務後、本採用として勤続20年表彰を有難くも頂けるとは思っていませんでした。勤務当初は現在のように茶器がないので看護助手が患者さんの配茶を個人の湯飲みに配り、食事の盛り付けを栄養管理室で調理師さんと一緒に行なっており、調理師の皆様と仲良くさせて頂いたのも懐かしい思い出です。定年退職まで残り数年になりましたが、今後も健康、無事故に留意し、職員の皆様と一緒に仲良く仕事に邁進してまいります。今回の表彰ありがとうございました。

療養介護長 大浦 さよ子

この度永年勤続20年の表彰を受けました。私にとってはあっという間の20年だったように思います。この間、諸先輩や同僚、後輩に恵まれそれなりに充実した20年でした。患者さんの立場に立った看護を心がけてきたつもりですが、まだまだ努力すべき点が多くあるように思います。看護の現場では、1人1人の患者さんから学ばせていただくことが私の日々の仕事の糧です。仲間のスタッフのみなさんの力を借りながら残された定年までの年月を精一杯努めてまいりたいと思います。

看護師 鮫島 洋子

## 市民フォーラム開催のお知らせ

第8回市民フォーラム

# 食と健康

～病気になるにくい食事を考えましょう～

**日時：平成29年9月9日(土)**  
**場所：ウェルネス交流プラザ「ムジカホール」**

**参加費 無料**

♥ **健康相談 (13:00～14:00)**  
 国立病院機構 都城医療センターの医師（放射線科・呼吸器外科・整形外科）による健康相談をはじめ、がん関連の認定看護師、薬剤師、管理栄養士により相談をお受けしますのでお気軽にお越しください。

♥ **市民フォーラム (14:00～16:30)**

- ★ 講演 「当院での健康を重視した食事の提供」  
 都城医療センター 栄養管理室長 宮永 朋子 先生
- ★ 講演 「がんになりにくい食事のすすめ」  
 都城医療センター 統括診療部長 後藤 又朗 先生

**特別講演 「知れば知るほど幸せ上々みやこのじょう」**  
 UMKテレビ宮崎アナウンス部長 高橋 巨典 先生

**高橋巨典さんのプロフィール**

1960年生まれ、56歳 宮崎県出身（日之影町生まれ、小学4年生より福岡市に転居）  
 1983年テレビ宮崎にアナウンサーとして入社。  
 1994年より、ラジオテレビ宮崎の番組「テレビみやこ」を担当。13年間で、宮崎から300以上の生中継を行う。  
 2007年、JAGDA（元気のよさまっし）に所属する音楽、UMKスーパーニュースのキャスター。  
 2014年4月より、鹿嶋FC（エフエフ鹿嶋）のサポーター-DMCを務める。  
 UMKの社会貢献活動の取り組みとしては、これまで県内の200カ所以上の施設（学校・図書館）を訪ね、

（共催） 都城市・都城保健所・国立病院機構 都城医療センター  
 （後援） 都城日本経済連合会、都城青年会議所、都城健康づくり協会

お問い合わせ 国立病院機構 都城医療センター 経営企画室 TEL.0986-23-4111



## 看護の日

平成29年5月26日(金)



私たちはナイチンゲールの生誕の日を記念し、看護の歴史を振り返り、看護の心、感謝の心、助け合いの心を分かち合うために看護の日の活動に取り組みました。

午前中はナイチンゲールの『看護の覚書』の中で学んだ、「看護とは環境を適切に整え、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること」を振り返りました。そこで、患者の環境を快適に整える看護師の役割を目指すものとして、自分たちの日頃の生活を送る中での健康に影響を及ぼす環境について考えました。

3学年合同で『5S』を取り上げ、その意味と現状についてディスカッションを行いました。『5S』とは、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「しつけ」であり、自分たちの学校や日常生活の中での実施状況と課題を分析し、原因や対策を検討しました。そこで、身近な問題から意識を高め、健康の保持・増進のために自己の生活の中での環境を整える大切さを学びました。さらに、病院で『5S』が重要視されていることについても、今までの学習や実習の経験から振り返りました。医療現場では効率よく仕事を行うだけではなく、頭の中や環境を整理して、医療ミスを防ぎ、患者の生命を守ることが重要であることが理解できました。また、患者さんが安心して入院生活を送るためには、責任をもって環境を整えることが看護の役割であることも気づきました。今後は学生同士で声をかけ合いながら、学内や寮生活などの生活の中で意識的に『5S』の対策を実施していきたいと思っています。



午後は日頃から実習でご協力やご支援をいただいている患者さんや実習指導者、病院関係者の皆様に感謝の気持ちを伝えるために、清掃ボランティアに取り組みました。



患者さんが日頃から使用されている車椅子やストレッチャー、点滴スタンドなどの清掃や外来、病棟内の環境整備を丁寧にいたしました。また、

患者さんには点滴スタンドにかけて持ち運べるような小物入れを一つ一つ心を込めて作り、患者さんの好みに添うようなデザインを選んで配らせていただきました。患者さんは大変喜んでくださり、私たちも心から温かい気持ちになりました。

この看護の日では、患者さんへ感謝の気持ちをお伝えしたいという思いで活動しましたが、患者さんからありがとうという言葉をいただき、より一層、実習で患者さんのために最善を尽くしたいという気持ちが高まりました。今回の気持ちを忘れず、日々の学習や実習へと取り組んでいきたいと思っています。

(70回生 前田 未和)

# 連携医療機関の ご紹介

医療法人 参篤会

## 高原病院

院長

石塚 隆二 先生



所在地	〒899-8602 鹿児島県曾於市末吉町栄町2-12-1
TEL・FAX	TEL 0986-76-1050・FAX 0986-28-8070
HP	<a href="http://takahara-net.or.jp">http://takahara-net.or.jp</a>
診療科目	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、消化器内科、内視鏡内科、糖尿病内科、放射線科、腎臓内科、人工透析内科
外来受付時間	平日8:00～11:30、14:00～18:00 土曜8:00～11:30
病床数	一般16床、療養30床、回復期リハ16床



高原病院は生活圏、医療圏を都城と同じくする鹿児島県曾於市末吉町にあり、62床（一般16床、医療療養30床、回復リハビリ16床）を有する多様な病棟機能を持つ病院です。祖父が昭和21年6月に診療所を開設したのが当院の歴史の始まりで、昭和37年12月に病院となっています。私は、現理事長の高原篤弘先生のあと平成22年8月より院長に就任しました。内科、外科、整形外科を中心にかかりつけ医としての存在だけでなく、具体的には高齢者の肺炎など急性期疾患の初期対応や入院治療、そして、重症の場合は高度先端医療機関への紹介により橋渡しを行うなど急性期医療から在宅医療（訪問診察・訪問リハ）まで、地域が必要とする医療を提供しています。また、生活習慣病の早期発見と予防のために人間ドック、健診（胃・大腸内視鏡、マルチスライスCT）にも力を入れています。さらに関連施設としての訪問看護、ヘルパーステーション、居宅介護支援施設、老人保健施設があり、医療と福祉の連携も図っています。

特に透析、リハビリテーションが当院の特徴です。透析は昭和52年鹿児島県大隅地域で最初に開始し、歴史のある施設です。開設当初より夜間透析、患者さんの送迎を行い、最近ではオンラインHDFなどオーダーメイド透析を導入し、患者さんにより質の高い生活を送れるように対応しています。

リハビリにおいては曾於地域唯一の回復期リハビリ病棟があり、整形外科疾患、脳血管疾患の治療、術後の患者さんの受け入れを行い、早期に在宅や社会復帰に向けてPT・OT・STと共に365日切れ目な

く、集中的リハビリを提供しています。また、平成27年6月に県より地域リハビリテーション広域支援センターに指定され、地域住民の方から相談や近隣医療介護施設、従事者への支援を行い、地域包括ケアシステムの構築のための体制の整備のための活動を行っています。

都城医療センターとは大腿骨頸部骨折地域連携バス、当院の特徴から透析患者をはじめ、急性期治療後の後方支援病院として医療連携をさせていただいております。

都城医療センターは地域医療、先端医療にひたむきに取り組み、質の高い医療を提供されています。様々な患者さんを安心して相談できる頼もしい存在で、いつも迅速に丁寧に対応して頂き感謝しています。当院も貴院の連携医療機関の名に恥じないように良質で信頼される病院を目指すという理念のもと貴院との連携をこれ以上に深め、地域医療の充実も貢献したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

# 外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 都城医療センター 国立病院機構

【全診療科 初診予約制】 受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 29 年 7 月 1 日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 ※2	初診	血液 肝	加藤 順也	前田 宏一	休診	
	再診		前田 宏一	加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也
循環器内科		阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎		阿南 隆一郎
呼吸器内科		後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高	後藤 康高 (再診のみ)
呼吸器科 外科	初診		巻 幡 聡		巻 幡 聡	
	再診	手術日	巻 幡 聡 加藤 文章	手術日	巻 幡 聡 加藤 文章	手術日
小児科	午前	1診	山下 貴大	南谷 曜平	中川 緑	林 勇佑
		1診	林 勇佑	中川 緑	山下 貴大	中川 緑
	午後	2診	南谷 曜平	斐 孝俊	斐 孝俊	南谷 曜平
		3診	山下 貴大	南谷 曜平	シナジス外来 (9月~3月)	1ヶ月健診
外科	初診	沖野 哲也	手術日	田中 洋	手術日	沖野 哲也
	再診	田中 洋		松村 和季	後藤 又朗	杉原 栄孝
消化器病センター	初診	藤原 利成	駒田 直人	藤原 利成	駒田 直人	駒田 直人
	再診	駒田 直人	藤原 利成	駒田 直人	藤原 利成	駒田 直人
N S T 外来			駒田 直人 (第二、四火曜日 14:00~16:00)			
整形外科	初診	税所 幸一郎	吉川 教恵	手術日	吉川 教恵	吉川 教恵
	再診	税所 幸一郎	税所 幸一郎 (再診のみ)		休診	税所 幸一郎 (再診のみ)
リウマチ科		税所 幸一郎	税所 幸一郎 (再診のみ)	手術日	休診	税所 幸一郎 (再診のみ)
泌尿器科	1診		山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	古郷 修一郎	山崎 丈嗣
	2診	手術日		古郷 修一郎	宮元 一隆	古郷 修一郎
皮膚科 ※3			中山 文子 (午前)		中山 文子 (午前)	中山 文子 (午前)
産婦人科	初診	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一	古郷 有佳子	古田 賢
	再診	古郷 有佳子	徳永 修一 (14:30まで)	古田 賢	古田 賢	徳永 修一
耳鼻咽喉科	一般	外山 勝浩 津曲 省吾	外山 勝浩 津曲 省吾	外山 勝浩 津曲 省吾	外山 勝浩 津曲 省吾	手術日
	難聴外来	津曲 省吾 (14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹
	画像診断	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平
歯科口腔外科	一般	田畑 雅士 新屋 俊一 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊一 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊一 西久保 舞	田畑 雅士 新屋 俊一 西久保 舞	手術日
	ペインクリニック ※6					横山 幸三 (午後)
	障がい者 歯科					森 主宣延 (月1回)
がんサポート外来 ※4						新村 耕平
緩和ケア外来 ※4						林 章敏 (第四金曜日)
特殊外来	マザークラス (第二、四火曜日)		フットケア外来	助産師相談室 (午後)	母乳外来	ストーマ外来
			リンパ浮腫外来		リンパ浮腫外来	遠征カウンセリング外来 (14:00~15:00)

### 【その他の特殊診療】

診療科名等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内視鏡センター	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管	上部消化管 下部消化管 (午後より宮大) 気管支	上部消化管 下部消化管
透視撮影(胃)	外科		外科		
骨塩ドック(骨粗鬆症検査)【予約制(14:00以降)】	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。  
 ※2 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前に診療FAX連絡票と共に、最新の血液データを送ってください。  
 ※3 皮膚科の診察時間は、火曜、木曜、金曜の9時30分~13時となっております。  
 ※4 がんサポート外来、緩和ケア外来については、事前にご相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。  
 ※5 セカンドオピニオンの受診についても、予約制となっております。がん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。  
 ※6 ペインクリニックは歯科口腔外科を受診された患者様が対象となります。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人  
国立病院機構

## 都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・  
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会